

令和7年度  
2学期号

# のびのび石川っこ

研究推進だより  
令和7年12月

## 『 児童が自ら読み、表現する力の育成 ～考えて、書いて、話して～ 』

明日で2学期が終わります。2学期は行事や取組が多く、学習内容も盛りだくさんでした。今年度は、子どもたちからの「問い」から始まる授業づくりを大切にしています。学習のゴールである目指す姿を共有し、「問い」を解決するために必要な学習計画を子どもたちと一緒に考えました。子どもたちが安心感をもって「考えて」「書いて」「話して」主体的に学習に向かうことのできる学習環境づくりを目指して、自分のめあてをもった学習を意識した2学期でした。

冬休みに入り、年末年始の行事もあって慌ただしい日々になりますが、生活や学習のリズムを崩さず、自分の課題に合わせた主体的な家庭学習に取り組んでほしいです。

保護者の皆様には、2学期も家庭学習を中心に子どもたちの学びを支えていただき、ありがとうございました。3学期も、どうぞよろしくお願いいたします。

**めざそう! 「いしかわっこ」**

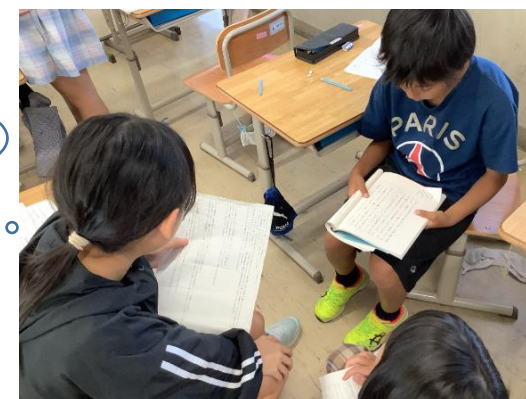
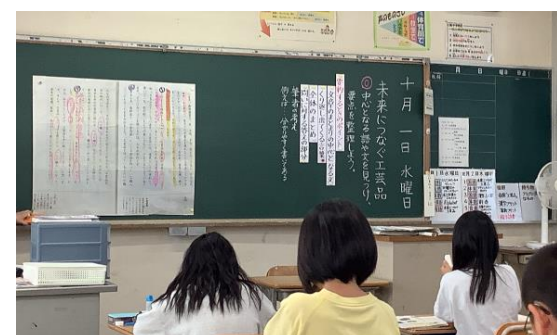
い	生かす	まなんだことをつかおう!
し	主体的に	じぶんできめよう!
か	考える	あきらめずかんがえよう!
わ	私のこととして	わたしの「なぜ?」をもとう!
っ		
こ	言葉で表現	ことばでつたえよう!

毎日の学習や、学校生活の中で意識したい姿を全校で共有しました。授業づくりや振り返りの視点に取り入れています。

## 研究授業 4年生 「未来につなぐ工芸品」

文章を要約するために「教材文を段落ごとに読み、中心となる語や文を見つける」という学習です。単元のゴールは「自分の選んだ伝統工芸品のリーフレットづくり」です。筆者の考えを把握するために、繰り返し登場するキーワードや表現に着目して何度も読みました。これまでに学習してきた知識を活かし、「問い」「事例」「筆者の考え」などの叙述に注目して、友達に自分の意見を伝えていました。

学習してきた「要点を整理するポイント」をもとに大切な文や言葉を選び、自分の考えを友達と伝え合いました。



主語や接続語にも注目し、教材文に線を引いたりメモをしたりしながら考えていました。

## 研究授業 6年生 「やまなし」

物語を読む中で生まれた「問い」を全員で共有し、仲間分けをしました。単元のゴールは「宮沢賢治が作品にこめた思いを考える」です。「なぜ作品名がやまなしなのか」「水銀のような泡とはどんな様子か」など、作者の表現にこめられた思いを読み解くような「問い」を設定し、解決するために必要な学習計画を考えることで、自分たちで学習の見通しをもつことができました。



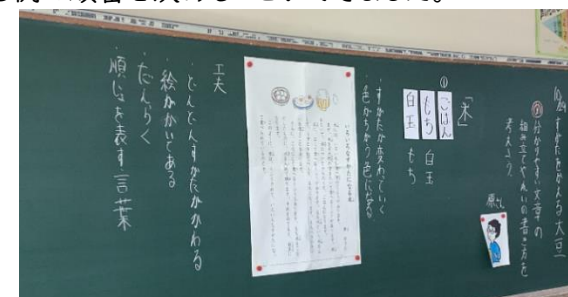
事前に家庭学習で自分の「問い」を整理することで、考えをもって学習に臨む姿がみられました。

出し合った「問い」をもとに、学習計画を立てました。



## 研究授業 3年生 「すがたをかえる大豆」

「すがたをかえる大豆」は大豆がもやしや豆腐など、様々な食品に姿を変える様子を「順序を表す言葉」や「例を示す順番」を工夫して紹介した説明文です。単元のゴールは「学習したことを生かして、自分の選んだ食品の説明文を書き、紹介する」です。関連図書を読み、その中から自分が紹介したい食品を選び、カードに書き、並び替えて考えました。友達と話し合いながら意見を交流し、紹介する例の順番を決めることができました。



友達と考えを交流し、自分が紹介する食品の順番についてアドバイスしました。

例として「米」が姿を変えた食品「ごはん」「もち」「白玉」を紹介する順番はどうすればよいか、みんなで考えました。





## 「家庭学習がんばり週間」・「石川検定」

「家庭学習がんばり週間」へのご協力、ありがとうございました。この間の子どもたちの学習の成果が、読書活動に意欲的に取り組んだり、丁寧な字を書くことを意識したりするなど、学校での様子にも表れています。検定の内容や合格点の目標を自分で立て、目標に向かって宿題や読書、自主学習に取り組みました。「家庭学習がんばり週間」の成果を石川検定で発揮し、カタカナ・漢字・ローマ字や算数、社会などで多くの合格者がありました。検定後には、「自分がどんな頑張りをしたから合格したのか」や「今後の家庭学習への取り組み方について」などについてふり返り、検定の結果を次に活かそうとする姿勢が見られました。

## 子どもたちのノートより

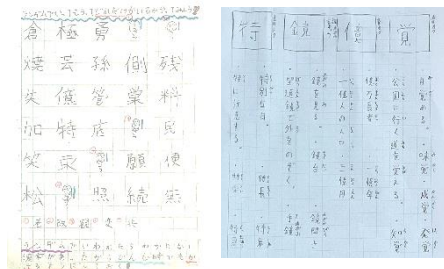
子どもたちが学習に取り組んだ成果の一部を紹介します。ノートに丁寧な文字を書いたり、とめやはねを意識して書いたりして、それぞれ目標を立てて取り組みました。その漢字の音読みや訓読み、使い方を調べる工夫も見られました。計算や漢字以外の学習をする子どもたちもいて、自分の課題に内容に合った取り組む子どももいました。

今後も、子どもたちが家庭学習の習慣を身に付け、学習に粘り強く取り組んだり、自分の学習を振り返ってより自分に合った学習方法や内容を選んだりすることができるよう指導していきます。

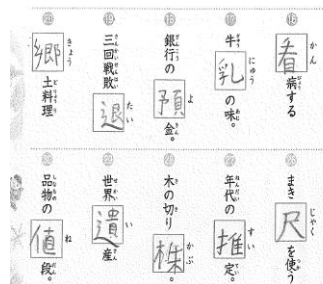
低学年



中学年



高学年



## 「『家庭学習』がんばりカード」の振り返り

【児童より】

◆カタカナの練習をしたから、目標より高く点数をとれました。◆カタカナの練習プリントをいっぱいしたので、満点が取れました。◆自主勉強のプリントを毎日したから合格できました。◆目標の点数より高かったけど、自主勉強でやったところを間違えていたから、次の検定の時には、もっと早くから自主勉強に取り組んでもっといい点数が取れるように頑張る。◆漢字を覚えるのを頑張りました。満点取れたので満足です。◆必死に勉強しました。◆漢字をきれいに書くことができた。◆漢字ノートに書いた漢字を思い出しながらやったら100点取れました。◆漢字検定で目標より高くて嬉しかったです。◆毎日ノートに漢字の自主勉強をしていたので、100点を取れました。◆コツコツ勉強したら、覚えやすくて、ちゃんとできました。

【保護者より】

◆自主学習の百マス計算をたくさんがんばりました。すべて正解で驚きました。これからも一緒にしようね。◆これからも常に目標をもって、頑張っていこうね！ガンバレ！◆目標に向かってがんばれたね！自主学習と読書も頑張れました。◆毎日プリントを持ち帰り、検定に向けて頑張りました。集中して本を読む時間も増えてすごい！◆体調が良くない中、よく頑張りました。いつもより、読書の時間が多く取れて良かったです。◆タイマーを使って計りながらやっていて、時間を意識しているようでした。具体的な目標を立てていたかた、取り組みやすかったのだらうなと思いました。◆自分で本を借りに行き、たくさん読んでいました。◆漢字を覚えようと毎日頑張って勉強をしていました。◆合格できてよかったね。毎日の学習の振り返りをしっかりとしてね。◆自主学習の時間以外にも、タブレットのローマ字うちの練習を頑張りました。◆どの教科も真剣に勉強をしていますすごいなと思いました。特に漢字に力を入れていました。◆読書は、夜寝る前の本読みの時間に声を出してすらすらと読んでいました。◆毎日隙間時間を見つけてもくもくと勉強に取り組めていました。本もたくさん読めたね。◆自分から机に向かって勉強できていました。◆目標時間が少なめでしたが、少し頑張ったので、時間的には長くなって良かったです。◆こちらが声を掛けることもありましたが、嫌がらず勉強していました。◆時間を見つけて、ワークやドリルをコツコツ行っていました。◆毎日よく頑張っています。自分で目標をもって頑張れるようになってきたことがすごく素敵です。いつも応援しています。

2学期は、読書にも力を入れて取り組みました。家庭学習がんばり週間の期間でも、読書をする時間が増えたり、自分から進んで読んだりしました。本は知識や言葉を豊かにしてくれます。それだけではなく、親子で同じ本を読み、感想を伝え合ったり会話を広げたりすることで、お互いの考えに共感したり違いに気が付いたりすることができます。冬休みにも、学校で借りた本の他にも読書ができるといいですね。

## 「わくわく朝会」の様子

2学期のわくわく朝会は、チーム班ごとに言葉集めをしました。第3回目は「海の生き物」、第4回目は「学校にあるもの」の言葉を集めて、一言説明を付け加えました。今後も楽しみながら、言葉に触れる機会を作っていきたいと思います。



学校にあるものを  
探して伝えました。

今後も、自学自習の力を付け、自らの学びを調整していけるよう、学校と家庭とで連携していきたいと考えています。引き続き、様々な取組等で保護者の皆様方のご協力をよろしくお願い致します。